

回 覧

令和 8年 3月 吉日

丸子地区町内会各位

消防団第11分団第4部長	齋藤 直人
丸子地区火防委員長	村田 好邦
丸子町内会長	紺野 幸一
町丸子町内会長	畑崎 耕三
富塚町内会長	高野 勝雄
御山越町内会長	平井 洋子

火災予防と「初午（はつうま）」の行事について

立春が過ぎ、暦の上では春とはいえ、とても寒い日が続いております。この頃、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ご承知のとおり2月から4月は、空気が乾燥し大変火災が発生しやすい季節です。

火災発生を未然防止のため、皆様には特段のご協力をお願い致します。

さて、来る令和 8年 3月22日(日)初午の行事を行います。

当地区消防団では、下記による活動を行いますので一段のご協力をお願い申し上げます。

記

- 1、初午当日 令和 8年3月22日(日)午前8時～午後4時30分まで
*(暦の上の初午は3月21日(土)ですが、第4部では3月22日(日))
- 2、半鐘通報 午前7時30分 1点～3点 (●—●●● ●—●●●)
- 3、巡回と放水
 - ① 消防車で地区内を広報し防火意識の高揚を図る。
 - ② 一部の箇所では放水活動を実施いたしますので、関係宅、新築及びそのご近所のお宅では、干し物等にご注意願います。
 - ③ 無火災祈願及び防火意識を高めていただくため「火の用心」の御札を各戸に団員が配布いたします。

会長挨拶

富塚町内会は、信夫山の北側、福島市北部の鎌田地区に位置する町内会です。国道13号線信夫山トンネル開通前は、長閑な田園風景がひろがる地域でした。それが、トンネル開通後には、福島市中心部との直線距離が比較的近いことの利便性が注目され、急速に宅地開発が進んできました。

今では500世帯を超え約1300名の方々が居住する町内会となっております。

当町内会のもっとも誇るべき特色は、この30年で急速に世帯数が増え、都市化が進みながらも、150年の歴史を紡ぎあげてきた「福島だるま」の伝統継承御本家（村田好邦さん）が居住され、今もなおご活躍なさっていることです。そのご活躍は福島市ホームページでも紹介されました。

(<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/soshiki/2/1003/1/3/5974.html>)



富塚町内会は「共助」の考え方のもと、住民相互の一層のつながりを図り、ここに住んでよかったと思える地域づくりを目指しています。

富塚町内会会長 高野勝雄

富塚の名前の由来

富塚の町名の由来は、16世紀、伊達家の家臣であった富塚仲綱（1511～1545年）にさかのぼります。富塚仲綱は、長門守綱長の子で、富塚近江守仲綱と言いました。伊達郡森山邑（現国見町）に住んでいましたが、後に丸子邑（村）に移り、その館が「富塚館」と呼ばれていたことから富塚の町と呼ばれるようになったそうです。

（参考文献：国見町編 『国見町史』 第1巻、1977年3月）

【富塚電子町内会について】

令和7年7月7日より、「福島市電子町内会ウェブサイト」上に富塚町内会のサイトを作成し、運用を始めました。

町内の皆さまにとって身近で便利な情報発信の場となるよう、町内会の活動内容、防災・防犯情報、地域行事のご案内などを随時掲載してまいります。

電子町内会は、時代に合った新しいコミュニケーションのかたちとして、より多くの方に町内会活動に関心を持っていただくツールとしてご利用いただければ幸いです。今後とも、みなさまのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。



富塚町内会のサイトはこちら